Solar Link ZERO-T4 表示用ソフトウェアの取扱説明書

Solar Link ZERO-T4（以下、ZERO）に表示用 PC を接続する手順と表示用ソフトウェアの取扱いについて記載しています

【同梱品】 現地表示 PC セットには以下の機器が含まれます。 ＊ディスプレイなどその他必要な機器はご用意ください。

・表示用 PC（表示用ソフトウェアを含む）	HP Pro Mini 400 G9/CT	× 1
・LAN ケーブル（2m）	KB-T5Y-02N	× 1

【機器の接続と表示の確認】 本操作の前にパワーコンディショナ（以下、PCS）を計測するための施工を完了してください。
（➡別添『施工説明書』または『簡易施工説明書』を参照）

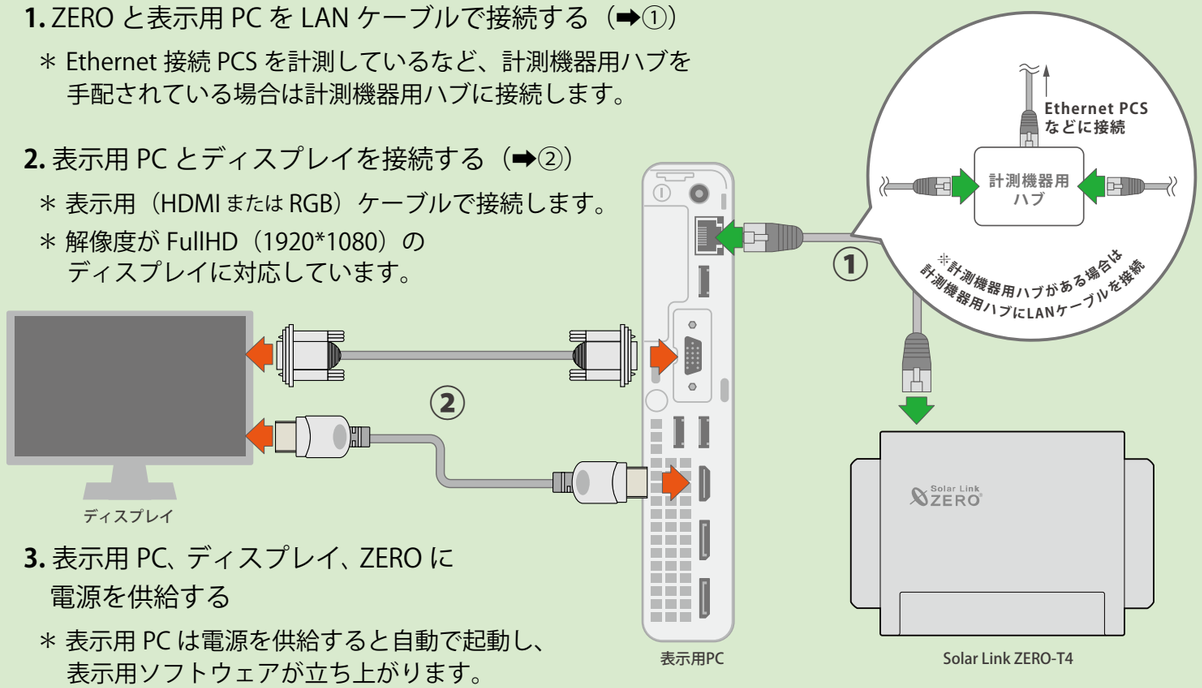
1. ZERO と表示用 PC を LAN ケーブルで接続する（➡①）

＊ Ethernet 接続 PCS を計測しているなど、計測機器用ハブを手配されている場合は計測機器用ハブに接続します。

2. 表示用 PC とディスプレイを接続する（➡②）

＊ 表示用（HDMI または RGB）ケーブルで接続します。

＊ 解像度が FullHD（1920*1080）のディスプレイに対応しています。



3. 表示用 PC、ディスプレイ、ZERO に電源を供給する

＊ 表示用 PC は電源を供給すると自動で起動し、表示用ソフトウェアが立ち上がります。
（画面の表示まで数分程度の時間がかかります）

4. 右ページの**計測画面**が表示されたら、計測値が正しいことを確認します。

以上で接続と表示確認は終了です

【こんなときは？】 表示画面が正常に表示されない場合は以下の項目についてご確認ください。

- ・画面が表示されない ➡ □表示用 PC とディスプレイ間の表示用ケーブルは正しく接続されているか。
  □表示用 PC やディスプレイの電源は入っているか。
- ・画面は表示されるが、計測値が反映されない ➡ □ ZERO と表示用 PC 間の通信は開始しているか。（➡【表示用ソフトウェアの基本操作】を参照）
  □ ZERO と表示用 PC 間の LAN ケーブルが正しく接続されているか。
  □ ZERO は計測を開始しているか。（➡別添の『取扱説明書』または『施工説明書』を参照）
- ・表示の切れやズレがある ➡ □ディスプレイが FullHD（1920*1080）の解像度入力に対応しているか。

● 上記で解決しない場合

裏面の【表示用ソフトウェアの基本操作】を参照して通信を終了し、**表示用 PC を再起動**します（ディスプレイ→表示用 PC の順で起動すると改善する場合があります）。再起動後の表示状態をご確認ください。

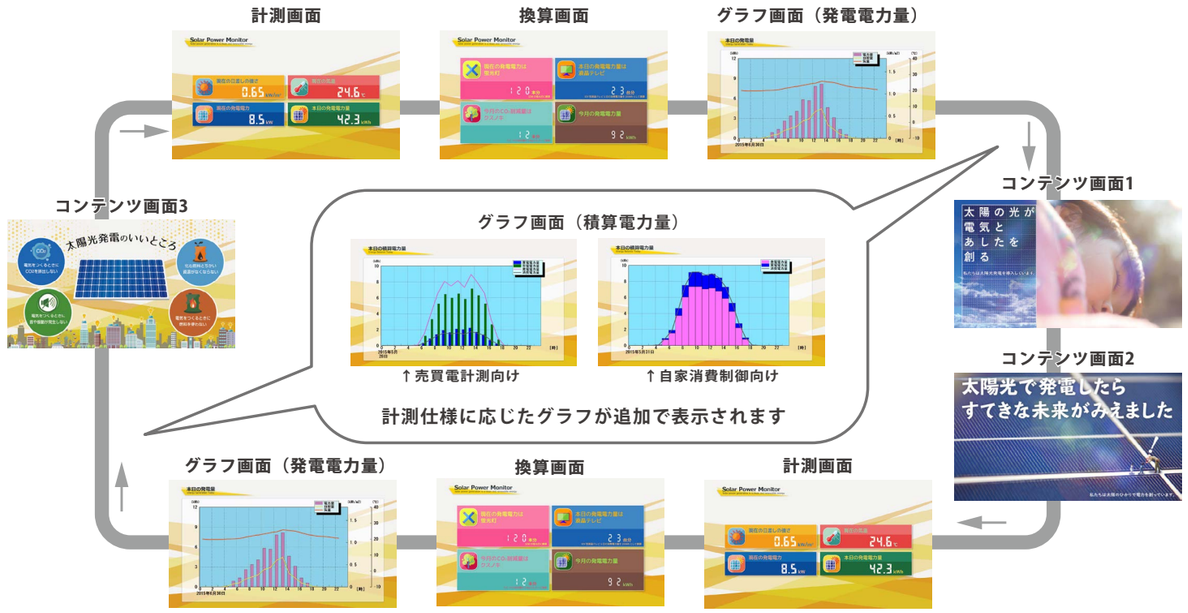
● 表示用 PC の再起動でも解決しない場合

＊本操作を行うと必ず欠測が発生します。夜間など計測をしていない時間帯での実施をお勧めします。

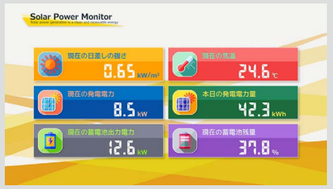
別添の『取扱説明書』または『施工説明書』を参照して **ZERO を再起動**します。再起動後の表示状態をご確認ください。

【画面仕様】

下図の通り、各画面が巡回表示されます（計測値は最大で約 1 分ごとに更新）。設定変更は裏面をご参照ください。



● 計測画面 「現在の発電電力※」「本日の発電電力量※」と計測仕様に応じた項目を表示します



※「発電電力」「発電電力量」は PCS のみを計測している場合は交流の値が表示され、蓄電池付システムでは直流または交流の値のいずれかが表示されます。

・計測仕様に応じた項目

- 「現在の日差しの強さ」「現在の気温」：日射強度、気温を計測時に表示
- 「本日の売電電力量」「本日の買電電力量」「本日の消費電力量」：売電電力、買電電力、消費電力の計測時に表示（仕様により計測していない場合も演算値として表示される場合あり）
- 「現在の蓄電池出力電力」「現在の蓄電池残量」：蓄電池付システムを計測時に表示

・異常発生時に表示されるアイコン

- 故障 ：PCS や蓄電池などの異常発生時に表示
- 系統異常 ：系統異常発生時に表示

● 換算画面 発電電力を蛍光灯の本数などに換算した値を表示します

「現在の発電電力は蛍光灯○○本分」
：蛍光灯 1 本を 32W として算出

「本日の発電電力量は液晶テレビ○○台分」
：液晶テレビ 1 台の 1 日の消費電力量を 200Wh として算出

「今月の CO2 削減量はクスノキ○○本分」
：クスノキ 1 本の CO2 吸収量を 53kg-CO2 として算出
（二酸化炭素係数は 0.441 kg-CO2/kWh）

「今月の発電電力量」

● コンテンツ画面・グラフ画面

3 種類のコンテンツ画面と計測仕様に応じた種類のグラフを表示します（上図を参照）

Solar Link ZERO-T4 表示用ソフトウェアの取扱説明書

Solar Link ZERO-T4（以下、ZERO）に表示用 PC を接続する手順と表示用ソフトウェアの取扱いについて記載しています

【表示用ソフトウェアの基本操作（付属のキーボードとマウスを表示用 PC に接続して操作）**】**

● メニューバーの表示と全画面表示

起動後は全画面表示の状態です。**Esc キー**を押すとメニューバーが表示され、操作が可能になります。またメニューバーが表示された状態で **Esc キー**を押すと、全画面表示になります。

エスケープキー

● 通信（表示用 PC - ZERO 間）の終了／開始

メニューバーから以下の手順で通信を**終了／開始**します。

ファイル →計測→**計測終了／計測開始**→確認ウィンドウ→ OK

＊表示用 PC と ZERO が通信していないと、画面に計測値が反映されません。
＊表示用 PC との通信を終了しても、ZERO での計測は止まりません。

● 自動画面切替の設定

メニューバーから以下の手順でチェックを外します（または入れます）。

ファイル →**自動画面切替**

＊チェックを外さないと設定などの操作ができません。
＊チェックを入れると、画面が巡回します。

【表示画面の設定変更】
の**前後**に以下の操作が必要です
- **通信の終了／開始**
- **自動画面切替の設定**
  （チェックを外す／入れる）

操作手順は本項の
【表示用ソフトウェアの基本操作】
をご参照ください。

【表示画面の設定変更】

● 画像の追加

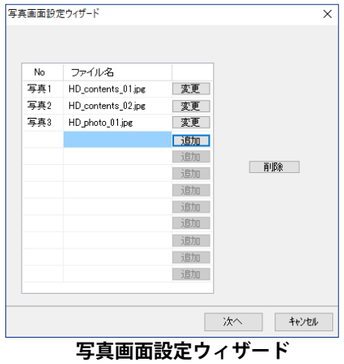
1.**【表示用ソフトウェアの基本操作】**を参照して**通信を終了し、自動画面切替のチェック**を外します。
2. 事前準備として、デスクトップ上の PC アイコンから「Viewer」フォルダを開き、追加したい画像を格納しておきます。

【取り込み可能な画像】
- 最大登録枚数：12 枚（コンテンツ画面 3 枚を含む）
- サイズ：FullHD（1920*1080）
- BMP / JPEG / LPEG / PNG 形式

PC アイコン

3. メニューバーから以下の手順で**写真画面設定ウィザード**を表示します。

表示画面設定メニュー → 写真画面設定



写真画面設定ウィザード

4. **追加**をクリックし、項目 2. で「Viewer」フォルダに追加した画像を選択します。
5. ファイル名欄に選択したファイルが表示されていることを確認し、**次へ**をクリックします。
＊追加した画像のファイル名をクリックすると右側の枠内にプレビュー表示されます。
6. **自動画面切替設定**（右ページ参照）が表示され、一番下の行に「写真＊ .skl（追加した画像のファイル名でない）」が追加されたことを確認し、OK をクリックします。
＊追加した画像は現在設定されているパターン No. の末尾に追加され、切替間隔は自動的に 5 秒で設定されます。
＊自動画面切替設定の詳細は右ページの「**画像の切替設定**」をご参照ください。
7.**【表示用ソフトウェアの基本操作】**を参照して**通信を再開し、自動画面切替のチェック**を入れます。
追加した画像が表示されることを確認します。

● 画像の切替設定

1.**【表示用ソフトウェアの基本操作】**を参照して**通信を終了し、自動画面切替のチェック**を外します。
2. メニューバーから以下の手順で**自動画面切替設定**を表示し、表示画面の設定を行います。

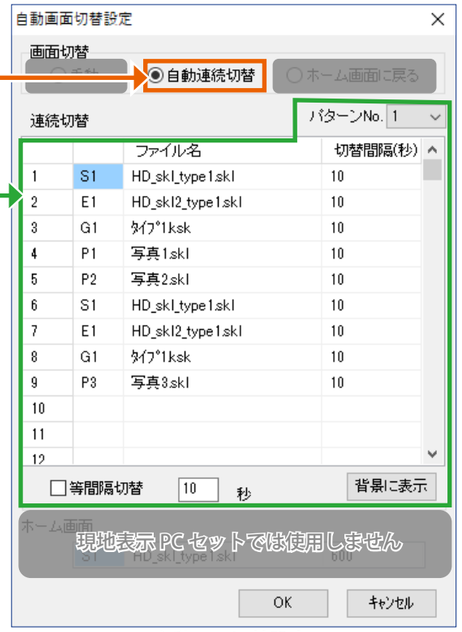
表示画面設定メニュー → 自動画面切替設定

- **自動画面切替設定について**
  画面切替の選択では「**自動連続切替**」を選択します。
  ＊**手動**と**ホーム画面に戻る**は現地表示 PC セットでは使用しません。

各画面は**連続切替**で設定した順で巡回、表示されます。
出荷時には計測仕様に応じたパターンが設定されていますが、「パターン No.」の操作で別のパターンに変更することができます。

- **画面の順番を変更 / 追加する**（画像の追加は左ページを参照）
  変更したい画面のファイル名、もしくは空白の行をクリックします。
  プルダウンメニューから変更または追加したい画面を選択します。
  ＊**背景に表示**をクリックすると画面をプレビューすることができます。
- **表示間隔を変更する**
  切替間隔（秒）に入力された秒数で各画面が表示されます。
  ＊**等間隔切替**にチェックを入れると、個々の設定に関わらず全ての画面が指定した秒数で切り替わります。

3. **OK** をクリックして、**自動画面切替設定**を閉じます。



自動画面切替設定

4.**【表示用ソフトウェアの基本操作】**を参照して**通信を再開し、自動画面切替のチェック**を入れます。

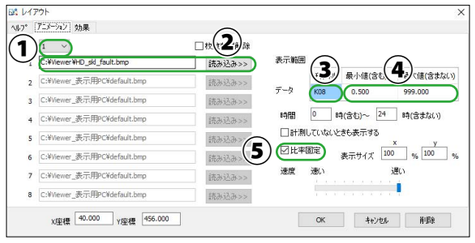
● 故障、系統異常アイコンの非表示／表示（出荷時は表示されるように設定済）

1.**【表示用ソフトウェアの基本操作】**を参照して**自動画面切替のチェック**を外します。
2. メニューバーから以下の手順で、画面を**編集可能な状態**にします。

表示画面設定メニュー →画面レイアウト

➡編集可能な状態ではツールパレットが表示されます。
現地表示 PC セットでは「新規アニメーション」以外の機能は使用しません。

- **アイコンを非表示にする**
  故障や**系統異常**のアイコンをクリックして表示される画面で**削除**をクリックします。
- **アイコンを表示する**
  新規アニメーションをクリックしてから、画面上でクリックすると**レイアウト**画面が表示されます。
  以下の設定をしてから、OK をクリックします。



①**設定枚数**　「1」を選択します。
②**ファイル名**　**読み込み**から以下の内容を指定します。
故障の場合は「**HD_skl_fault.bmp**」、系統異常の場合は「**HD_skl_kfault.bmp**」
③**チャンネル**　ダブルクリックして表示されるプルダウンから選択します。
故障の場合は「**K8：故障**」、系統異常の場合は「**K9：系統異常**」
④**最小値と最大値**　最小値を「0.500」、最大値を「999.000」に設定します。
⑤**比率固定**　アイコンの縦横比がずれる場合にチェックを入れます。

3. 画面上の任意の場所をクリックしてアイコンを配置し、以下の手順で編集内容を保存します。

表示画面設定メニュー →画面レイアウト保存 →上書き保存

4.**【表示用ソフトウェアの基本操作】**を参照して、**自動画面切替のチェック**を入れます。